

イチヨウラン *Dactylostalis ringens* Reichb.f.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 1、総点 11。山地の林内に生育するラン科植物で、愛知県では個体数が極めて少ない。

【形態】

多年生草本。地下茎は短くはい、その先端に 1 個の葉をつける。葉は長さ 1~4cm の柄があり、葉身は卵円形、長さ 3~6cm、幅 3~4cm、先端は鈍頭、肉質で葉脈は目立たない。花期は 5~7 月、花茎は高さ 10~20cm で 2~3 個の鱗片葉があり、花はその先端に 1 個つき、苞は四角状楕円形、長さ 2~3mm である。がく片および側花弁は倒披針形、長さ 2~2.5cm、先端はやや鈍頭、淡緑色で紫色の斑点がある。唇弁は卵形、ほぼ中央で 3 裂し、白色、側裂片は広卵形でずい柱を囲み、先端は紫色、中裂片は倒広卵形、長さ、幅とも 7~10mm、紫色の斑点があり、基部に 2 条の隆起条がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：1 富山 (小林 44855, 1993-6-27)、4 津具 (小林 42898, 1993-5-16)、6 設楽西部 (芹沢 54689, 1990-4-29)、11 作手 (小林 53001, 1994-8-3)、13 豊川 (小林 50532, 1994-3-26)。西：5 稲武 (芹沢 89259, 2014-6-7)、19 旭 (塚本威彦 517, 1993-5-8)。9 鳳来南部 (上吉田浅間山, 小林 24988, 1983-4-26) で採集された標本もある。

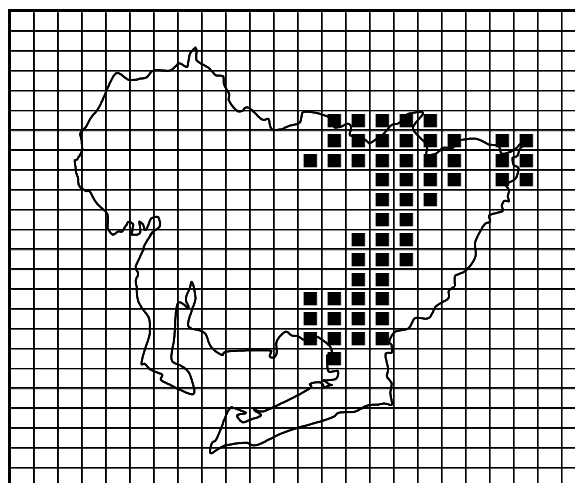
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

千島列島南部および日本。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の針葉樹林内や落葉広葉樹林内に生育する。通常は沢沿いの湿った場所に見られる。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林	○			
草・岩				
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

点在するが、どの場所でも個体数は極めて少ない。森林の伐採や園芸目的の採取により、減少傾向にある。出現頻度が低いため、はっきり認識できないうちに消滅する恐れがある。

【保全上の留意点】

生育地の森林を保全することが必要である。園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

日本固有の、1 属 1 種の植物である。

【関連文献】

保草本Ⅲp.58, 平草本 I p.228, 平新版 1 p.195.